

日本福祉心理学会第24回大会・一般公開プログラム

つなぐ実践としての福祉心理学 ～当事者・制度・専門を結び、生活を支える～

日程：2026年8月8日（土）

場所：来往舎1階シンポジウムスペース

参加無料、予約不要

記念講演 13時15分～14時15分

精神障害当事者の視点から専門職の支援を問い直す
——「つなぐ実践」としての支援関係を考える——

山田 悠平（一般社団法人精神障害当事者会ポルケ）

実行委員会企画シンポジウム① 14時25分～15時55分

障害のある学生の支援における福祉心理学の役割

企画・司会：中野 泰志（慶應義塾大学）

話題提供1：近藤 武夫（東京大学先端科学技術研究センター）

話題提供2：青木 千帆子（筑波技術大学）

話題提供3：柏倉 秀克（桜花学園大学）

指定討論：飯野 由里子（東京大学）

実行委員会企画シンポジウム② 16時10分～17時40分

当事者・制度・専門職を結び、生活を支えるためのリンクワーク

企画・司会：中野 泰志（慶應義塾大学）

話題提供1：吉泉 豊晴（日本視覚障害者団体連合）

話題提供2：柊村 雅文（京都悠仁福祉会 京都認知症総合センター）

話題提供3：堀田 聡子（慶應義塾大学大学院）

指定討論：宮内 久絵（筑波大学）

主催：日本福祉心理学会、大会長：中野 泰志（慶應義塾大学）

後援：慶應義塾協生環境推進室、慶應義塾大学教養研究センター

お問い合わせ先：janphs2026-group@keio.jp

イベント詳細ページ

